

2023年2月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	+22.6	柏 店 ※1	+11.6
堺 店	+8.7	(株)高島屋各店計	+18.5
京 都 店 ※1	+20.9	(株)高島屋各店計 ※2 既 存 店 計	+20.4
泉 北 店	+8.1	岡 山 高 島 屋	+9.5
日 本 橋 店	+16.5	岐 阜 高 島 屋	+11.9
横 浜 店 ※1	+19.5	高 崎 高 島 屋	+11.1
新 宿 店	+35.6	(株)高島屋各店 および 国内百貨店子会社 計	+17.9
玉 川 店	+12.7	(株)高島屋各店 および 国内百貨店子会社 既存店計 ※2	+19.6
大 宮 店	+5.6		

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

※1 京都店は「洛西店」、横浜店は「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」、柏店は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高をそれぞれ含みます。

※2 2023年1月に営業終了した立川店の前年実績を控除しています。

■ 概況

○2月度の店頭売上高は、前年度のまん延防止等重点措置の反動に加え、ラグジュアリーブランドをはじめとする高額品や

訪日外国人の売上が引き続き好調だったことにより、前年実績を上回りました。

店頭売上高	前年比	+17.9%	2019年度(2020年2月)比	+11.6%
免税売上高	前年比	+243.6%	2019年度(2020年2月)比	+99.3%
免税を除いた店頭売上高	前年比	+13.4%	2019年度(2020年2月)比	+8.7%

○店舗別売上高では、全店が前年実績を上回りました。

○商品別売上高(当社分類による14店舗ベース)では、紳士服、紳士雑貨、婦人服、婦人雑貨、特選衣料雑貨、宝飾品、

呉服、子供情報ホビー、スポーツ、リビング、美術、食料品、食堂が前年実績を上回りました。